

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記 該当無し
2. 重要な会計方針
- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 該当無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 該当無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産については定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金 債権の貸倒れに備えるため、一般債権については法人税の規定に基づく法定繰入率により計上している。
- (5) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理 税込方式によっている。
3. 会計方針の変更 該当無し
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 該当無し
5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 該当無し
6. 担保に提供している資産 該当無し
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
器具備品取得価額 315,641円 減価償却累計額 315,640円 当期末残高 1円
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
未収入金 12,159,971円に対する貸倒引当金 78,796円
9. 保証債務等の偶発債務 該当無し
10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額及び評価損益 該当無し
11. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高 該当無し
12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 該当無し
13. 関連当事者との取引の内容 該当無し
14. 重要な後発事項 該当無し

附属明細書

基本財産及び特定資産については、財務諸表に関する注記に記載済みにつき、内容の記載を省略する。